

什器等仕様書（ランゲージラウンジ・エレベーターホール）

1 ランゲージラウンジ（図面4～8）

- (1) サーバルームを撤去したエリアに現状と同じタイルカーペットを拡張敷設すること。円形の緑、青、赤のタイルカーペットをアクセントカラーとして加えること。

※配置サイズ・位置は別紙図面8参照。

- (2) ラウンジ南壁のホワイトボードは、既存のパンフレット棚を撤去し、壁を補修したうえで、黒板塗装仕様（黒）に塗り替えること（図面8の立面図A）。

- (3) ラウンジ内に、柱・梁などの「フレーム」、連結する部材としての「ジョイント」、構造を補強するパネル・ガラス面の「サポート」から構成される間仕切りブース（幅8050mm未満×奥行5690mm未満×高さ2500mm未満）を設置すること。間仕切りブースの設置にあたっては、地震による倒壊を防ぐための床固定及び壁固定を行うこと。

※各構成部分の仕様については以下の①～⑨のとおり。各構成部分の具体的な配置については別紙図面4～8参照。

- ① 基本フレームとなる柱・梁には、90mm角、3層又は4層のラミナーの杉材の構造用集成材（JAS規格E55-F225以上）を使用すること。サンダー仕上げ、無塗装、全周面取り加工がされていること。
- ② 柱・梁はプレカットジョイント金物工法で施工できる加工仕様とし、容易に組替えができるパーツで構成されていること。また、使用状況の変化等によりレイアウトの変更が可能であること。
- ③ 間仕切りブースのガラスフレームは、幅890mm又は1910mm×厚さ42mm×高さ2320mmとし、アルミ押し出し材を粉体塗装（黒）していること。
- ④ 透明ガラス、カラーガラスパネル及び化粧パネルについては、以下のア～ウの仕様によること。
- ア 透明ガラス5枚は、幅848mm又は幅1868mm×厚さ8mm×高さ2177mmとし、透明飛散防止フィルムを貼りこむこと。飛散防止フィルムには衝突防止のためのグラフィックを施すこと。
- イ カラーガラスパネル6枚は幅945mm×厚さ42mm×高さ2320mmとし、下地は木製フラッシュポリ合板貼りとすること。ガラスの色はサンプルを提示し語学センター担当者と協議の上決定すること。
- ウ 化粧パネルは1枚は、幅890mm×厚さ42mm×高さ2320mmとし、両面黒色でホワイトボードマーカーが使用できる素材であること。
- ⑤ 機器取付パネル1枚は、幅1200mm×厚さ42mm×高さ2320mmとし、木製フラッシュポリ合板を両面貼ること。色については語学センター担当者と協議すること。
- ⑥ 杉縦格子パネル2枚は、幅1010mm×厚さ70mm×高さ2320mmとし、30mm

×70mmの上小節程度の杉角材を使用すること。角材はサンダー仕上げ、無塗装とすること。

杉縦格子パネル1枚につき、パンフレットラック1個を取り付けること。パンフレットラックは幅1090mm×奥行60mm×高さ350mmとし、スチールSPCCt1.2曲げ加工、焼付塗装仕上げ（白）とすること。

- ⑦ 間仕切りブースの出入口はスライド扉2か所とすること。スライド扉は幅890mm×厚さ42mm×高さ2320mmとし、木製フラッシュ杉突板両面貼り、無塗装とすること。スライドレールは幅1890mm×奥行60mm×高さ60mmとすること。
- ⑧ 間仕切りブースの内側2か所にハイテーブルを設置すること。ハイテーブルのサイズは幅1800mm×奥行250mm×高さ950mm程度とすること。フレームは、スチール角パイプ25mm角、焼付塗装とすること。
- ⑨ 間仕切りブース内の照明は、間仕切りブースの梁部にスポットライト22個を設置すること。スポットライトはLED、温白色で調光対応であること。スポットライトのスイッチは使用するエリアのみのON/OFFが可能であること。
- (4) テーブル10台は、幅1300mm×奥行563mm×高さ720mmの台形とし、脚色が2色以上、天板色が3色以上から選択可能であること。
- (5) 椅子13脚は、幅544mm×奥行513mm×高さ782mm、重量5.7kg以下とし、背・座面が成型合板、突板、ウレタン塗装、4本脚であること。移動が容易なよう、背もたれ部分に樹脂製の取っ手を有すること。
- (6) ロビーチェア3台は、幅610mm×奥行610mm×高さ700mmとし、木脚、クロス貼りで7色以上から選択可能であること。1人用肩肘仕様とし、3台のうち1台は右アーム、2台は左アームとすること。
- (7) ホワイトボード3台は、幅896mm×奥行466mm×高さ1400mmとし、両面ホワイトボードであり、粉受けトレイが両面から使えること。キャスター及びビストッパー付きとし、裏表にかかわらず平行スタックが可能であること。
- (8) 杉格子展示パネル5台は、高さ800mm×奥行450mm×高さ2125mmとし、杉角材（40mm×25mm×2200mm）11本程度を使用していること。フレームは焼付塗装仕上げのスチール製であること。

2 廊下（図面8、12、13）

- (1) 図面8の立面図Bのデジタルサイネージの筐体（スチールの特注ボックス）の表面に、1-②の黒板塗装面と近似色の塩ビシートを張ること。
- (2) エレベーターホール横のガラス面に、透明フィルムに印刷したフロアサイン（幅1300mm×高さ800mm）を貼り付けること。研究室名については、貼り替えが可能なように別途印刷したシートを重ね貼りすること。

3 エレベーターホール（図面8～11）

(1) 既存のカウンターユニット及びフロアサインを撤去し、新たにワールドマップを設置すること。

(2) ワールドマップは、幅4600mm×奥行1000mm×高さ1500mmとすること。

※各構成部分の仕様については以下の①～⑥のとおり。

- ① 下地は、杉羽目板張り（準不燃仕様）とすること。
- ② 世界地図（立体地図）はMDFを12mm程度ラッカー塗装（白）すること。
- ③ 代表都市5ゾーンのデジタル時計を設置すること。設置に際して必要な電源工事を行うこと。
- ④ 提携大学のロゴと学校名、代表都市名、国名を透明シートに印刷し、アクリルプレートに貼り付けること。文字は、カッティングシート切り文字とし、貼り替えが可能なものとする。
- ⑤ ワールドマップの右端にデジタルサイネージ55インチディスプレイを設置する。設置に際して、語学センター事務室からの映像配信が可能となるよう配線工事及び電源工事を行うこと。
- ⑥ 既存のアナログ時計をワールドマップの右上部に移設する。移設に際して必要な電源工事を行うこと。
- ⑦ 最終的なデザインについては語学センター担当者と協議の上決定すること。

(3) 上記(2)を行うにあたり、壁面にふかし壁を追加すること。幅5130mm×奥行1000mm×高さ3000mmとし、無機質壁紙貼り（ダークグレー）とすること。巾木は、ソフト巾木高さ60mmとし、上記のシートと近似色とすること。

4 その他

(1) 上記1から3について、電源や配線などの工事を行う際は、配線等が表に露出することがないようにすること。

(2) 上記1から3のうち、色の指定があるものについては、事前に塗装サンプル等により語学センター担当者の確認を受けること。